

# 歯並びのよい子に 育てるために



～あごの小さい子が急増中～

最近では軟食による食生活、噛むことの減少、進化などにより、歯並びの悪い子どもが増えています。



## 歯並びの全身への影響

- あごが小さい ⇒ 歯並びが悪い → 虫歯・歯周病
- 舌の位置 ⇒ 前歯が咬まない → 口が常に開いている
- 口呼吸 ⇒ 免疫力低下 → カゼ・アトピー・アレルギー
- あごが後退 ⇒ 出っ歯 → 姿勢が悪い(猫背)

## お子さんにこんな癖はありませんか？

- ★ 指しゃぶり
- ★ 爪・唇を咬む
- ★ 舌を突き出す
- ★ 口呼吸
- ★ おしゃぶり
- ★ ほおづえ
- ★ 姿勢が悪い
- ★ テレビを見ながら食事をする



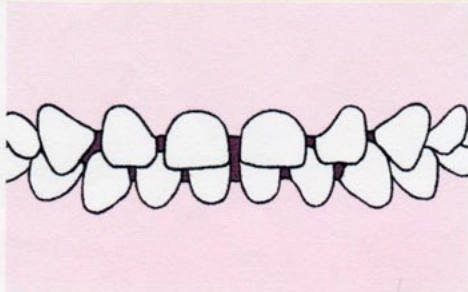
## 子どもの歯並び治療の目的

1. あごを正しい大きさに広げる
2. 前歯でよく咬めるようにする
3. 舌を正しいポジションにする
4. 鼻呼吸にする(口を閉じる)
5. 自然で美しい歯並びにする

## 早期治療のメリット

上下のあごの成長を正常にし、永久歯の生える環境を整える。  
将来の矯正治療において永久歯を抜くリスクを下げることができる。

## Q. 乳歯期の理想の状態って??



- A. ◎1本1本の乳歯の間にすき間がある  
⇒永久歯がきれいに並ぶためのスペースがある。
- ◎むし歯がない  
⇒乳歯を早く失ってしまうと永久歯の生える位置の目印がないので正しい位置に生えることができない。

